

県民を支える図書館アクションプラン 経過報告

～ 変わる県立図書館 ～

本年4月にスタートした「県民を支える図書館」アクションプランは、概ね計画どおりに推移し、多くの面でその効果が芽生えています。

仕事上や生活上の課題解決支援としての講座の開催、テーマ別資料リストの作成・配布、物流体制の整備や相互貸借資料の拡大等を実施し、地域や住民にとって役に立つ図書館を目指しました。

その結果、図書館利用者層の拡大、多様な図書館利用法の提供、また事業によっては行政機関・類縁機関・学校等との連携による相乗効果も生まれています。

一方、物流システムの未整備、県北地区以外の住民へのサービスの拡充、働く人への利用促進等が、今後の課題となっています。

図書館利用者
層の拡大

多様な図書館
利用法の提供

他機関との連
携による相乗
効果

「アクションプラン5つの柱」

「図書館図書館」として図書館振興を図ります
県民の暮らしのお役にたちます
働く人のお役にたちます
地域と文化を育むお手伝いをします
学ぶすべての人を応援します

公開講座の開催 31回 706人

「無料貸本屋」と見られがちな図書館から、多様な利用法を提供する図書館へ、また、「客待ち」から「誘客」へ姿勢を転じるため、公開講座を計31回開催し、延べ706人の参加（2008.11.15現在）がありました。

実施講座

- ・賢い消費者になるために
- ・はじめてのインターネット
- ・サラリーマンを卒業しよう
- ・こどものへや探検講座
- ・新聞の眼
- ・人名や地名の調べ方
- ・新聞・雑誌記事データベースの使い方 他

物流ネットワークの整備

当館利用者が福島市を中心とする県北地区に偏在していることから、その地域的拡大を図るため、新たに川俣町、石川町、西会津町、飯館村の住民が、県立図書館で借りた資料を地元の公民館等で返却できるようにシステム化しました。

県立図書館で借りた資料を地元で返却できる市町村数

28 32 / 全59市町村

行政機関への情報支援

行政機関の職員向け広報誌『お役にたちます県立図書館』を作成し、ふくしま自治研修センターでの研修参加者への配布、及び概要説明を行っています。

また、福島県イントラネットでは、講座や講演会、展示等の図書館事業、及び図書館発行の広報誌や二次資料を紹介しています。